

2022 Business Report

第21期ビジネスレポート

2021年4月1日 > 2022年3月31日



IPを軸とした総合エンターテインメント企業への成長を目指して参ります。

当社グループは、「with entertainment」を存在意義として掲げており、人々の期待を超えるサービスを生み続けていくことを目指しております。また、今までになかった価値を創造し、ユーザーを魅了する体験を届けていくことに努めております。中期的には、IPを軸に、多様なデジタル・エンターテインメント・コンテンツをグローバルに提供する総合エンターテインメント企業となっていくことを掲げており、持続的成長及び企業価値向上を目指しております。

主力のゲーム事業においては、ゲームの開発・運営が主要事業となっており、他社IPゲーム及びゲームプラットフォーム並びにオリジナルゲームの開発・運営を行っております。また、メディア事業においては、次世代の主力事業創出を目的とした事業開発を行っており、当社の有するインターネットサービスの知見を活かした新規サービスを試験的に立ち上げ、事業化に向けた試行を重ねております。

当連結会計年度における業績は、売上高10,528百万円（前期比11.1%減）、営業利益

1,591百万円（前期比22.5%減）、経常利益1,541百万円（前期比23.6%減）となりました。なお、当期中にリリースした2タイトルで減損処理を行ったこと等で特別損失381百万円が発生し、親会社株主に帰属する当期純利益は807百万円（前期比50.3%減）となりました。各セグメントの業績は以下の通りです。

ゲーム事業

当期においては、7周年を迎えた当社主力タイトルの1本である他社IPゲームタイトルが年間を通じて好調に推移し、収益に貢献いたしました。また、新規タイトル3本のリリースを行った他、収益性向上を目的として、不採算タイトルのクローズや運用コストの効率化に努めました。売上高につきましては、運用中タイトルは、競合タイトルとの厳しい戦いを強いられる中でも堅調な推移を維持いたしました。また、当期にリリースした新規タイトルによる貢献がありましたが、複数タイトルのクローズによる影響を補うに至らなかったこと等により前期比で減少いたしました。利益につきましては、不採算タイトルのクローズによる利益改善がありましたが、新規タイトルリリースに伴う広告宣伝費、運用費の増加により、前期比で減少いたしました。以上の結果、セグメント売上高は10,358百万円（前期比11.9%減）、セグメント利益は1,871百万円（前期比22.6%減）となりました。主力事業である当セグメントにおいては、引き続き運用中タイトルの安定的な収益の維持に努める他、開発中の複数の新規タイトルのヒットによる売上、利益の増大を目指して参ります。



代表取締役社長 内藤裕紀



メディア事業

当期においては、Twitterを活用したファンコミュニティ促進サービス『Rooot』が順調に事業規模を拡大し、収益に貢献いたしました。また、IPプロデュース力の強化を目的とし、IPの開発・獲得、育成、収益化チャンネルの多様化に注力するため、出版・映像事業、Web3事業というゲーム以外のエンターテインメント領域での新規事業立ち上げを行いました。売上高につきましては、『Rooot』が順調にサービスを拡大しており、前期比で増加いたしました。利益につきましては、業績拡大への大きなチャンスと捉え積極的に新規事業領域への投資を行っており費用先行が継続しておりますが、増収効果で損失額は前期比で減少いたしました。以上の結果、セグメント売上高は169百万円（前期比99.7%増）、セグメント損失は280百万円（前期はセグメント損失364百万円）となりました。当セグメントにおいては、中長期的な事業成長を目指し、今後も積極的な研究開発投資を促進して参ります。

今後の見通し

2023年3月期以降につきましては、主力のゲーム事業において一層の採算性向上に取り組む他、新規タイトルのリリースによる売上成長を目指して参ります。また、積極的な投資を行い、ゲーム以外のエンターテインメント領域での事業開発に注力することで、IPを軸に、多様なデジタル・エンターテインメント・コンテンツをグローバルに提供する総合エンターテインメント企業となることを目指して参ります。2023年3月期におきましては、ゲーム事業において既存の運用中タイトルからの

収益貢献と、下期からの新規リリースタイトル3本の着実なヒットによる業績拡大を目指しております。新規事業につきましては、引き続きファンコミュニティ促進サービス『Rooot』の事業拡大を目指して参ります。また、出版・映像事業におけるIP創出、Web3事業の研究開発に積極的に投資を進めて参ります。上記を踏まえて、2023年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高13,000百万円、営業利益2,000百万円、経常利益1,900百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,200百万円を見込んでおります。

京都大学の学生だった私が2001年に設立した当社は、2021年11月で創業20年を迎えました。創業当時の主力事業であったブログサービスから、現在の主力事業であるゲーム事業まで、時流の変化にあわせて提供するサービスは大きく変化してきましたが、どのサービス・事業も創業以来の当社のアイデンティティである「with entertainment～期待を超える」を体現した「ドリコムらしさ」の溢れるサービスであったと自負しております。

新たな技術の応用、普及が進み、世界が一層劇的な変化を遂げるこれからの時代において、引き続き「with entertainment～期待を超える」の精神を大切に、世の中の変化を担い、世の中に驚きと喜び、そして幸せを届けるサービス・事業の創出に向けて邁進して参ります。今後とも一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年3月期の取り組みについて

ゲーム

- 2022年3月期は3本の新規タイトルをリリース
- 運用中タイトル本数は12本（2022年6月時点）
- 2023年3月期も3本のリリースを予定

新規事業開発

- 出版映像事業部では、出版社/映像メーカーの出身者が中心となり4つのレーベルが始動。IP開発の第一歩として小説公募新人賞を開催
- Web3事業ではブロックチェーンゲーム開発の他、IP創出を目的としたNFTプロジェクトなど複数の案件を進行中
- Twitterを活用したファンコミュニティ促進サービス『Rooot』は引き続き順調に事業を拡大

その他

- 経営成績及び財務状況の推移や、研究開発投資等の実施状況及び今後の計画を十分に勘案して配当の実施を決定

DRECOM MEDIA

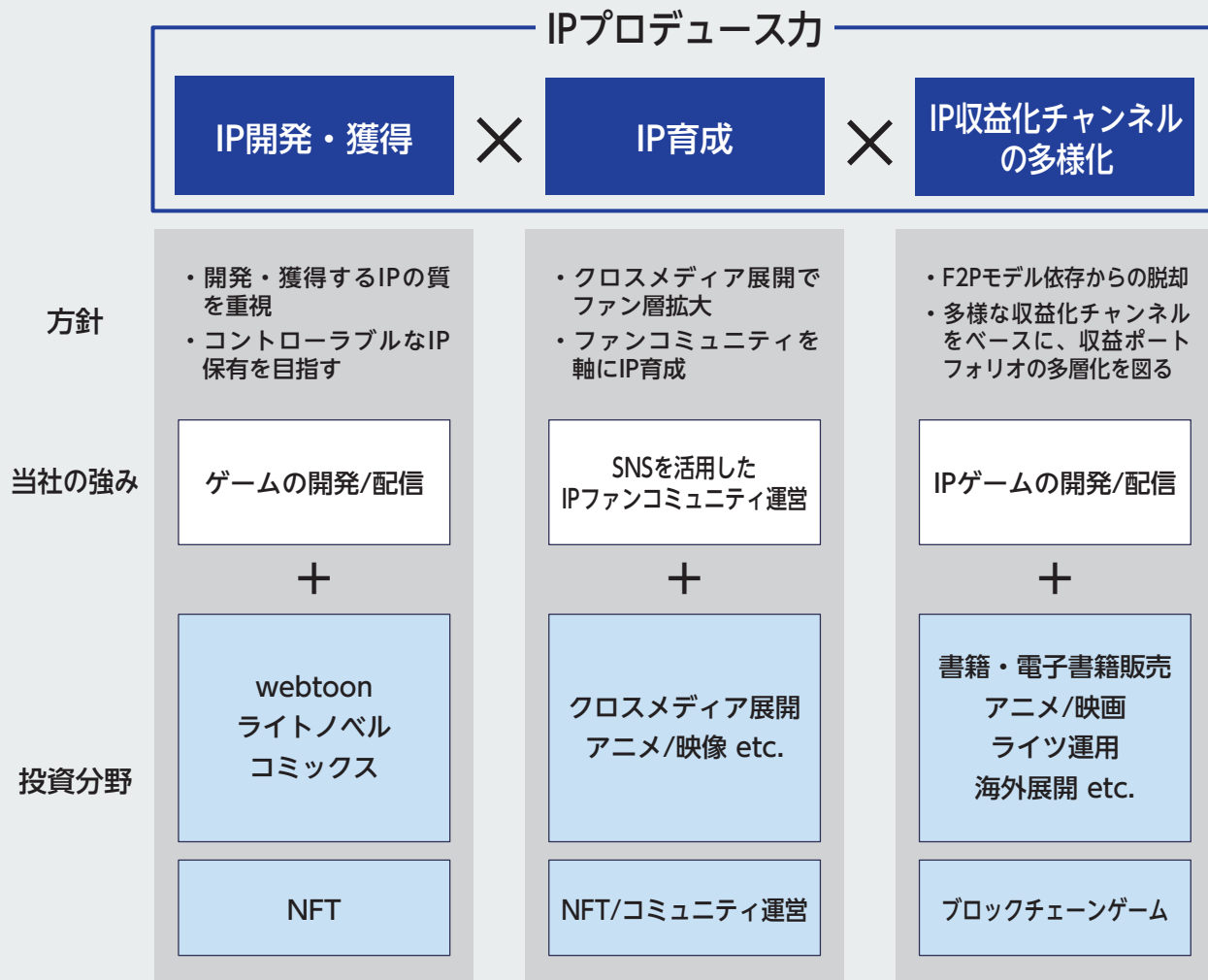


▲出版・映像事業ブランド「ドリコムメディア」



▲Web3事業

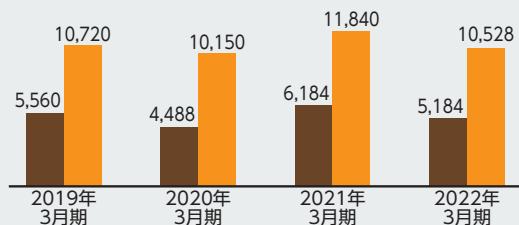
IPの開発・獲得、育成、収益化チャンネルの多様化に注力し、 IPプロデュース力の強化を図る



連結財務ハイライト

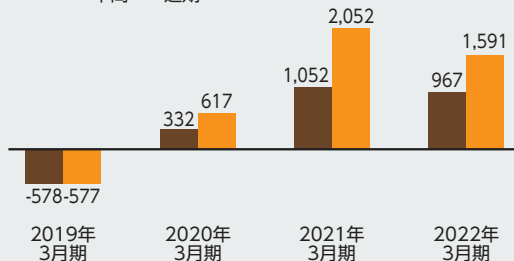
売上高

(単位：百万円) ■中間 ■通期



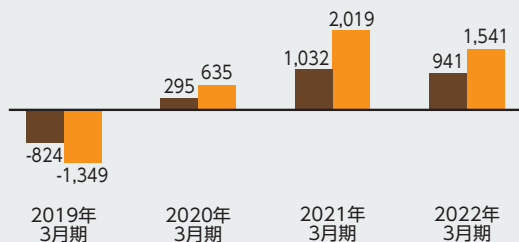
営業利益

(単位：百万円) ■中間 ■通期



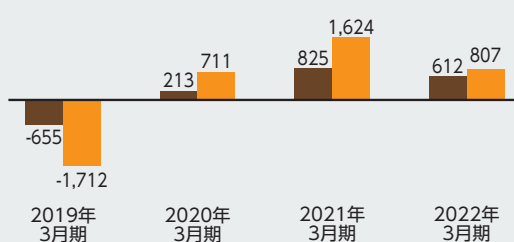
経常利益

(単位：百万円) ■中間 ■通期



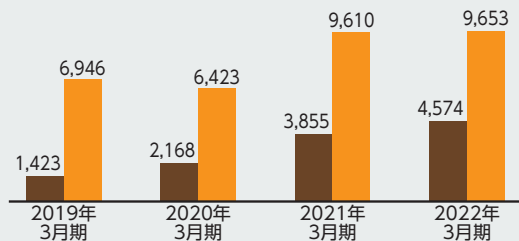
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円) ■中間 ■通期



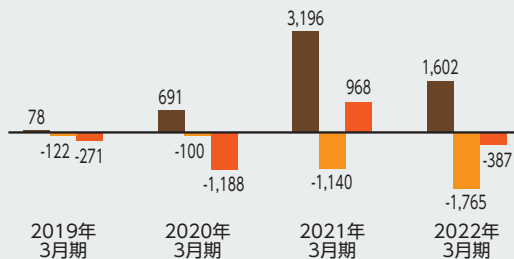
総資産・純資産

(単位：百万円) ■純資産 ■総資産



営業CF・投資CF・財務CF

(単位：百万円) ■営業CF ■投資CF ■財務CF



会社情報 / 株式情報 (2022年3月31日現在)

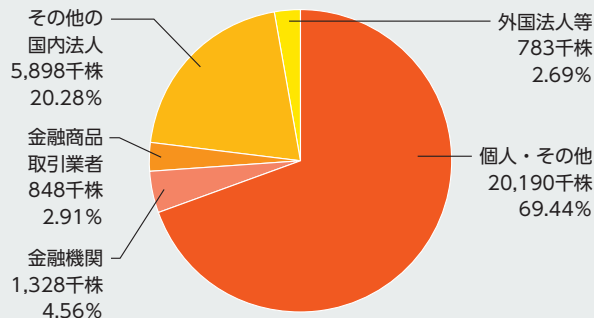
会社概要

商号 株式会社ドリコム
 本社所在地 〒141-6019
 東京都品川区大崎2丁目1番1号
 ThinkPark Tower 19階
 設立 2001年11月13日
 資本金 1,792百万円
 代表取締役社長 内藤裕紀
 従業員数 386名 (連結)
 主な事業内容 ゲーム事業、メディア事業
 連結子会社 株式会社ドリアップ
 株式会社スタジオレックス
 株式会社BlasTrain

株式の状況

発行可能株式総数 80,000,000株
 発行済株式の総数 29,072,696株
 株主数 9,310名

所有者別株式数



役員

代表取締役社長	内藤裕紀
取締役	後藤英紀
取締役 監査等委員 (常勤)	青木理恵
取締役 監査等委員	村田雅夫
取締役 監査等委員	清水勝彦

(注) 青木理恵氏、村田雅夫氏、清水勝彦氏は社外取締役であります。

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
内藤裕紀	9,930,000	34.18
株式会社バンダイナムコホールディングス	5,532,000	19.04
日本証券金融株式会社	711,100	2.44
山口憲一	663,700	2.28
株式会社日本カストディ銀行 (信託EIO)	613,300	2.11
株式会社モバテック	234,800	0.80
DAIWA CM SINGAPORE LTD - NOMINEE YOHEI INOUE	190,000	0.65
株式会社SBI証券	160,115	0.55
武田壮太郎	150,000	0.51
廣瀬敏正	145,100	0.49

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ
公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
(郵便物送付先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎0120-782-031
(受付時間 土・日・祝日・年末年始を除く9:00~17:00)
(インターネットホームページURL)
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

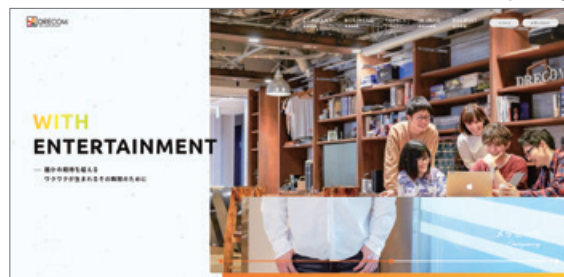
公告の方法 当社のホームページに掲載する。
<https://drecom.co.jp/ir/kessan/>
上場証券取引所 東証グロース

ホームページのご案内

当社webサイトをリニューアルしました。最新ニュースや様々な情報を発信しておりますので、ぜひご覧ください。

<https://drecom.co.jp/>

TOPページ



<https://drecom.co.jp/ir/>

IRページ

